

はくみ

家庭教育を考えるシリーズ

発行
 青少年健全育成鯖江市民会議
 鯖江市教育委員会
 鯖江市社会教育委員会

協力
 丹南青少年愛護センター鯖丹支所

61号

ポジティブ子育て ～持続可能な親と子であるために～



『大きいシャボン玉もできたぞ』やなぎ保育園



『泥んこ温泉気持ちいいね』鯖江東幼稚園



『体育大会 玉入れ』北中山小学校



『SDGs 新聞スクラップ』東陽中学校

親子で過ごす大切な時間、
 読書をしてゆったり楽しんでみてはいかがでしょう？

親子で読んでほしい本！

『みずとはなんじゃ？』
かこさとし/作 鈴木まもる/絵 小峰書店
小学校低学年～

『今森光彦の昆虫教室 ときかた・みつけかた』
今森光彦/作 童心社
小学校中学年～

『名探偵カッレ 城跡の謎』
アストリッド・リンダグレン/作
菱木晃子/訳 平澤朋子/絵 岩波書店
小学校高学年～

『今森光彦の昆虫教室 くらしとかいかた』
今森光彦/作 童心社
小学校中学年～

『いま生きているという冒険 増補新版』
石川直樹/著 新曜社
中学校～

『あたまをつかった小さなおばあさんのんびりする』
ホーニョーニョ/作 松岡享子/訳 福音館書店
小学校低学年～

いちはやく「189」ご自身が出産や子育てについて悩んだら…。通話料 匿名でも プライバシー 支援のきっかけ
 無料 大丈夫 は守られます になります

周りに子育てに悩む人がいたら…。 児童相談所全国共通ダイヤル 虐待を受けたと思われる子どもがいたら…。こちらにご相談ください。

自転車に乗るなら
 ヘルメットをかぶろう！

保険に加入しよう!!
 令和4年7月から…
 保険の加入が義務となりました

サイズやあごひももしっかりチェック
 自転車のロックも忘れずに!

事故を起こすと大きな経済的負担が…
 (約9,500万円の高額賠償事例あり)

子どもの安全・安心を
 まもりましょう

青少年健全育成鯖江市民会議
 鯖江警察署 鯖江市内郵便局

第3日曜日は
 『家庭の日 家族ふれあいデー』

県では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、
 家族のふれあい時間（家族時間）を増やす運動
 を推進しています。

お子さん（18歳以下）
 連れのご家族が
 特典を受けられる市
 内の店舗はこちら

電話相談受付中 相談窓口

子どもの発育 や健康の相談	健康づくり課 (52-1138)	月～金曜日 8:30～17:15
子育て相談	子育て支援センターに いる (51-3527)	月～金曜日 9:00～16:30
児童相談	子育て支援課 (53-2224) (53-2269)	月～金曜日 8:30～17:15

不安や悩みは一人で抱えこまず、ちょっと気になることや心配なこと等、何でもお話ししよう◎

ポジティブ&サステイナブル子育て 「子育てもSDGsで！」

「コロナ禍も三年目に入り、新しい生活様式や長引く感染症対策に苦慮しながら、子育てに毎日がんばりすぎてはいませんか。知らないうちに、上空を旋回するヘリコプターのごとく子どもを干渉し続ける「ヘリコプターペアレント」になってはいませんか。子育ては「一生もの。子育てを長いスパンでとらえてハードルを下げ、ずっと続けていける「持続可能な親と子」でありたいものです。

福井県や鯖江市は、国連が提唱したSDGs（持続可能な開発目標）に取り組んでいます。が、実は、子育てにもSDGsが関係しています。十七の目標の中には、子育てに通じる項目も多くあります。子育てしながら世界共通の目標が実現できるなんて誇らしいことだと思いませんか。日々、最新の情報をアップデートしながら、これからの時代は、親も子もグローバルな視野で物事をとらえていきたいものですね。

★子育てにも便利なツールを紹介！

ネット上では、子育てを応援してくれるサイトや動画、アプリなど多く見られますが、親子でじっくり話し合うときに便利なツールをご紹介します。

鯖江市の小・中学校では、主に学級活動を通して、ポジティブ教育に取り組んでいます。子どもたち一人一人が自分の強みや弱みを知り、自己肯定感を高め、お互いの存在を認め合う、温かい人間関係づくりを目指しています。

そんな子どもたちが自分の考えをまとめるためによく使っている「思考ツール」を、親子の会話にも使ってみませんか。親子での会話は子どもの語彙力を高め、考える力も伸ばします。思考ツールを使ってお互いの考えを出し合ってみましょう。

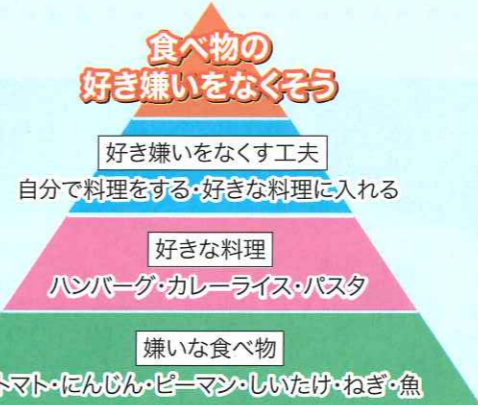
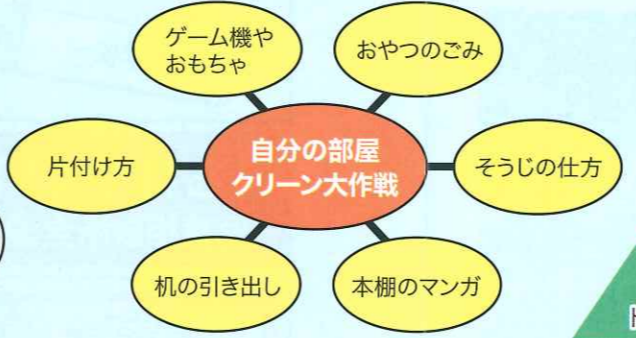
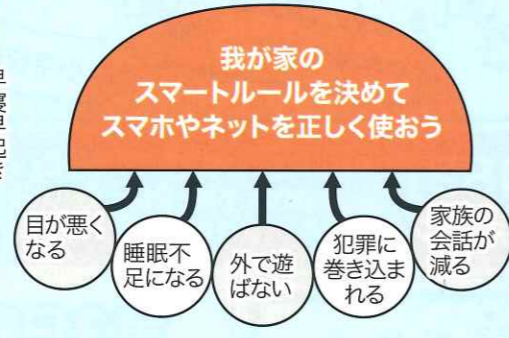
まず、親子で話し合うトピックを決めます。次に、視点を設定し、アイデアをどんどん書き出していきましょう。最後に、お互いの思いを確認し合います。子どもは、自分で決めたことは守るはず。一歩下がって見守りましょう。今まで気づかなかったお子さんの心の成長が見えてくるかもしれませんね。

★子育てを「孤育て」にはしないぞ！

「子は三界の首かせ」なんていうネガティブなことわざがありますが、「子育ては自分育て」でもある貴重な時間です。また、子育ては、一人ぼっちでもありません。困ったときには、子育て支援センターなどの施設や相談できる関係機関がたくさんあります。子育てはフルマラソンのようなもの。体力・精神力を温存しながら、子どもと一緒に一歩ずつ前に進んでいけばいいのです。

共働き率日本一の福井県。令和の時代の子育ては、便利家電や家事代行サービスなどの各種サービスを駆使し、「肩肘張らずに」ポジティブ&サステイナブル子育てを楽しみましょう。

思考ツールを使って親子で話し合おう



持続可能な親と子であるために 「私の子育て五か条」

民間で活躍された後、広島県の教育長に就任し、母親としても日々奮闘されている平川理恵さんの「子育て五か条」が魅力的です。平川さんの「子育て五か条」は、平川さん自身が子育てに迷ったときに見るための個人的なメモです。この五か条は、テーマである「持続可能な親と子」を考える上でのヒントになると考え、紹介します。

その「五か条」とは、①「自己肯定感を高める」②「自然を五感で感じられるような環境をつくる」③「人の気持ちがかかる」④「自分の意見を人に分かりやすく伝える力を培う」⑤「自立し、世の中に貢献できる力を育てる」です。混迷の時代だからこそ、時代の変化や子どもの変化に合わせて、ものの見方を変え、一人一人の子にあった子育てを考えていくのだらうと思います。

私自身も、孫育てとして平川さんの五か条を参考にしていることを具体的に書いてみます。

①子どもにも「選択させる」
子どもが「いやいや」を言うとき、また反抗的などとき、一方的に決めつけても、子どもは受け入れません。ここは「AかBかどちらにするの」と選択させたらどうでしょう。子どもは自分で選択したことは、大概やりとげます。そして「自分もできる」という自己肯定感も育てていきます。

②自然の中で遊ばせる
自然の中には、遊びにつながるものもたくさんあります。時間を見つけて、自然の中で遊ばせます。子どもは遊びの天才です。必ず、自然の中に遊びを見つけ出します。家族は遊びを通してつながります。自然の中で遊びを発展させる子は、その後、意欲的に育つようです。頭で考えるより、まず自然を楽しむ環境づくりをお勧めします。

③聞き上手をめざす
親として「話してきかせる」より「聞き上手」をめざしたらどうでしょうか。子どもは、聞いてもらえると喜びます。「えーすごい。もっと教えて」「おもしろいね。それでどうしたの」。話が続くようにすれば、子どもはどんどん話します。子どもは話しながら、考える子に育ちます。

皆さんの家庭での持続可能な「子育て五か条」を話し合ってみたらどうでしょうか。

※「涓滴」は「しずか」の意味。しずかを集まれば、やがて大河となる。この願いを込めて。